

UACJグループは2021年5月に「UACJ VISION 2030」を公表し、その中で「2030年度におけるサプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>排出量を2019年度比22%削減（BAU比 ※1）」することをKPIとして設定しています。

今回の計画では、カラーアルミ製品を製造する宇都宮カラーアルミ工場において、省エネ性能の高い設備を導入することにより、製品の製造時に排出されるCO<sub>2</sub>排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

※1 BAU(Business as usual)：何も対策を講じずに現状（生産量、品質構成）を維持した状態

## <事業適応計画の概要>

### 1. 事業適応計画の実施期間

2022年3月～2024年3月

### 2. 生産性向上目標

宇都宮カラーアルミ工場の炭素生産性を40.9%向上することを目標とします。

### 3. 前向きな取組の内容

天井照明のLED化、省エネ性能に優れた排ガス処理設備（インシュネレータ）・トランスの導入、及び乾燥炉のオープンダクトの更新を行うことで、稼働当たりのCO<sub>2</sub>排出量を低減し、炭素生産性の向上を図ります。

### 4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

## <宇都宮カラーアルミ工場の外観>

